

名称	爆薬製造実験室
建築年代	昭和 10 年（1935）1 月
構造	鉄筋コンクリート造の平屋建築、屋根は切妻屋根。トタンによって外壁が後補される。
用途	火薬研究所で、爆薬の調合実験を行っていた施設
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・もとは史跡指定地外に位置していたが、平成 29 年（2017）に主要施設である爆薬製造升部分の曳家工事を実施し保存した。 ・内部の隔壁はコンクリート製で、厚さが 30～40cm と通常よりも厚くなっている。 ・内部を監視するための視窓がある。 ・操作用と思われる配管跡が多く残っている。 ・三方を厚く強固な壁で囲うことで爆発の力に耐えさせ、前方および上方（屋根）を脆弱軽量なものとして爆発の力を開放させようとする放爆式構造をしていたと思われる。

